

科目名	美容心理学	Subject	Beauty Psychology
サブタイトル	美容と心理学のかかわり		
科目基本情報			ディプロマポリシー「主な学習効果」
開講年次	開講時期	必修／選択	DP1 知識・技能 DP2 主体的行動力 DP3 課題解決能力 DP4 多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力 DP5 日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力 DP6 美しく生きる力を実践できる能力
2年	前期	選択	
授業形態	単位	時間	
講義	2単位	30時間	
ゲストスピーカー招聘回	なし		○
教員名	五十嵐 靖博	メールアドレス	yigarashi@・・・
教員の略歴	右記 URL より一覧を確認してください。【 https://www.yamano.ac.jp/study/teacher/ 】		
実践的教育	×		
オフィスアワー	別途一覧をご確認ください。		

科目の概要																	
自分や他者を理解し、日常生活や美容にかかわるさまざまな職業的実践に適用するには、人間に共通する心のメカニズムと個々の人の個性を作り上げている心の特性を理解する必要がある。本科目では美容にかかわる諸現象と日常生活の中で経験される思考や感情や行動などを、心理学の諸理論にもとづいて考察する。本科目で習得した心理学に関する知識やスキルを活かし、日常生活や職業的実践において多様な価値観や文化の意義を踏まえ、自ら主体的に解決すべき課題を見いだし応用する場面を構想し、多様な価値観や考え方を理解して受け入れる能力を涵養できる。																	
授業方法																	
対面		オンライン		ハイブリッド		ディスカッション		プレゼンテーション		作品制作							
○		－		－		－		－		－							
授業の目標と関連するディプロマポリシー（DP）																	
ディプロマポリシー		授業の目標															
DP4		心や美容に関する考えや実際の行動の多様性を理解できる。															
DP1		美容と心理学に関する知識を習得できる。															
DP3		日常生活で出会うさまざまな事象を、心理学を活用して解決できる。															
教科書・教材																	
教科書		齋藤勇著『イラストレート心理学入門（第3版）』 誠信書房 2020															
参考文献		『ヒルガードの心理学（第16版）』 ブレーン出版 2015															
各自準備教材		ノートPC やタブレット端末などの IT 機器															
評価方法																	
筆記試験		実技試験		受講態度		小テスト		レポート		プレゼンテーション		作品		課題		その他	
－		－		10%		20%		50%		－		－		20%		－	
なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。																	
課題（試験やレポート）のフィードバックの方法																	
授業時に解説する。																	
履修上の条件・注意																	
※何らかの社会的な状況変化等の諸般のやむを得ない事情により、授業方法、授業計画、評価方法等を変更する場合がある。																	
本科目履修と関連する資格																	
なし																	

授業計画				
	授業内容	到達目標	時間外学習（予習・復習）	時間（分）
第 1 回	心理学の諸概念、行動の意味、心理学の研究法について学ぶ。	心理学とは何かを説明できる。	心とは何かをよく考え、自分の意見を明確に説明できるように準備しよう。授業後に自他の心観を、心理学用語を用いて説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 2 回	五感、視覚の重要性、目とカメラの構造的類似性を理解する。	知覚の基本的なメカニズムを説明できる。	予習として眼の構造をよく考え視覚の仕組みを説明できるように準備する。復習として視覚の諸事例を説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 3 回	錯視などの知覚現象と外見や美容の関係を理解する。	知覚と美容の関係を説明できる。	予習として知覚のメカニズムを、専門用語を用いて説明する。復習として美容における錯視の例を自分で考え説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 4 回	パーソナリティの成り立ちと美容行動の関係を理解する。	パーソナリティについて説明できる。	予習としてパーソナリティをどう考えているか、様々な場面で例をあげて説明する。復習としてパーソナリティを理論的に説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 5 回	自他のパーソナリティをどのようにして測定するか、理解する。	パーソナリティ検査について説明できる。	予習として今までに受けた心理検査をあげ説明する。復習としてパーソナリティ検査の構成について説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 6 回	小集団とそのメカニズム、美容の仕事の職場における心理学について学ぶ。	社会的行動の基礎と美容に関連する職場の心理学的特性について説明できる。	予習として人間関係が自分に与える影響を、具体例をあげて説明する。復習として集団力学の用語を用いて日常の事例を説明する。	240 分
第 7 回	服従と社会的役割に関する諸研究を学ぶ。	職場集団のメンバーの行動を社会心理学の視点から説明できる。	予習として自分が担っている社会的役割を、具体例をあげて説明する。復習として職場集団における事例を理論的に説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 8 回	ストレス、ストレッサー、汎適応症候群について学ぶ。	ストレスとは何か、説明できる。美容の仕事で経験しうるストレスを説明できる。	予習として自分自身のストレスの例をあげ、具体的に説明する。復習としてストレスの諸影響を理論的に説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 9 回	不安障害と心身症について学ぶ。	ストレスと心の障害の関係、予防法や治療法を説明できる。	予習として不安とは何か、自分の経験からその影響を具体的に説明する。復習として自分なりにやすい心身の障害と対処法を説明する。	240 分
第 10 回	うつ病、統合失調症について学ぶ。	うつ病や統合失調症について説明できる。	予習として教科書を読みうつ病と統合失調症について自分の理解と比較する。授業後、身近な人が治療を受ける場合にはどうすればいいか具体的に説明する。	240 分
第 11 回	エステの心理学について学ぶ。	エステティックが心に及ぼす効果を説明できる。	予習としてエステの心への作用を考え、事例をあげて説明する。復習として個々の施術と心的効果の関係を理論的に説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 12 回	魅力の心理学について学ぶ。	自他の外見が認知や魅力にどう影響するか、説明できる。	予習として魅力とは何か、心理学やその他の視点から説明する。授業後、魅力的な人の具体例をあげ心理学的に説明するワークを行い、提出する。	240 分
第 13 回	美の社会的構成、ボディ・ポジティブの重要性を理解する。	美の基準がどのように作られ、心にどう影響するかを説明できる。	予習として自分が美しいと思うものを4つ以上あげ、説明する。復習としてそれらの例が心理学理論によってどのように理解できるか、具体的に説明する。	240 分
第 14 回	美齢学へ向けて心理学を活かす。	心理学と美容の関係を理解し、美齢学の意義を説明できる。	予習として美齢学とは何か、具体的な内容を資料を読んで調べる。授業後、自分の生活と美齢学、心理学の関係を具体的な事例をあげて説明する。	240 分
第 15 回	授業を振り返り、疑問や課題を整理して解決する。	全体として講義内容を振り返り、理解を深め日常生活や職業的实践に適用できる。	予習として講義内容を振り返り疑問等を整理する。授業後、わからない点を明確に説明する。また心理学について自分の考えを述べるワークを提出する。	240 分